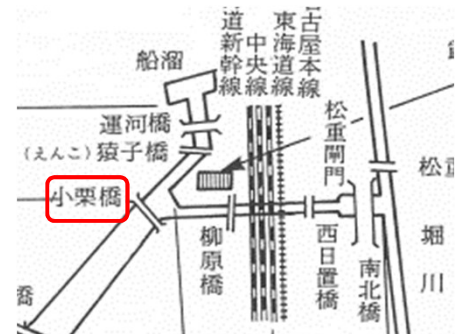
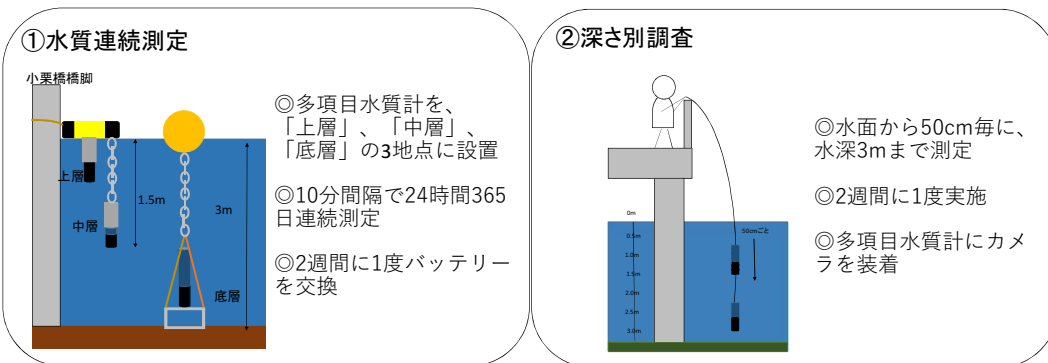


中川運河の季節変化

名古屋市環境科学調査センター 監視係 内藤雄太

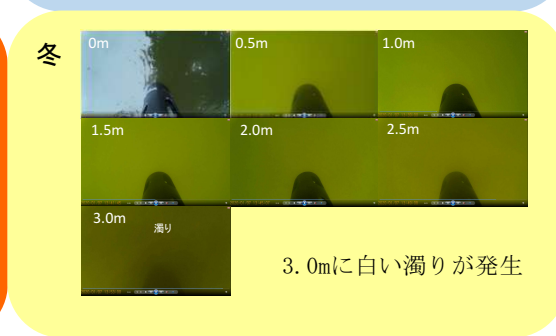
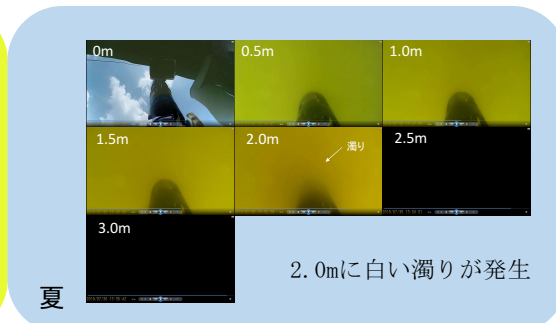
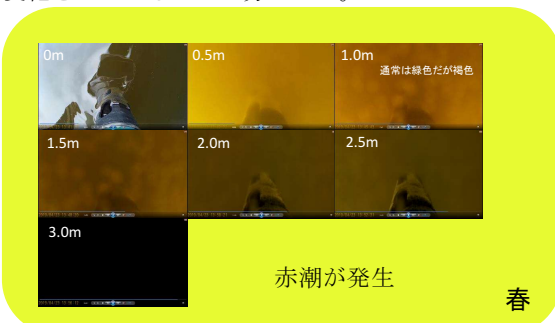
1. 中川運河における水質測定

監視係では、令和元年度、中川運河の小栗橋において①水質連続測定と②深さ別調査の2種類の水質測定を行っている。



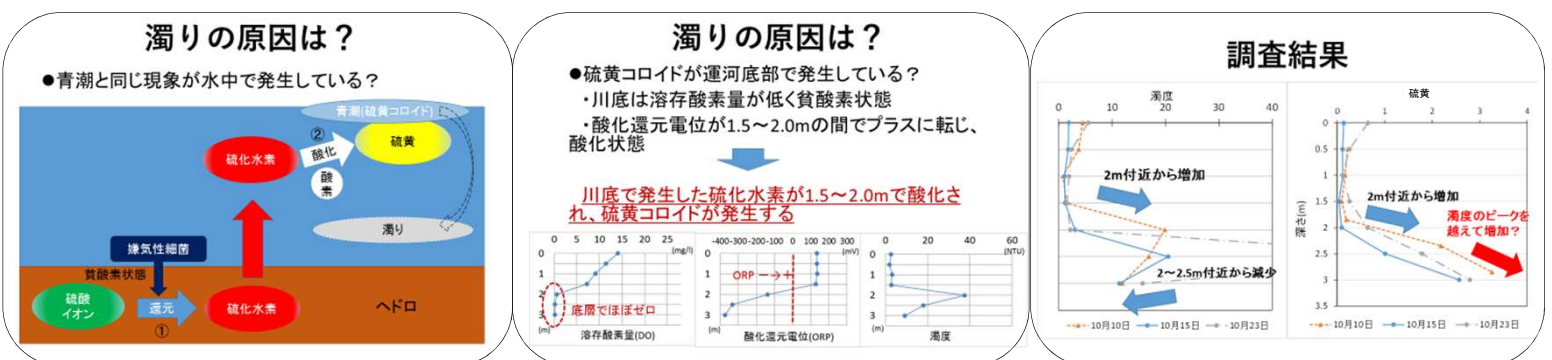
2. 深さ別調査により見られる中川運河の季節変化

多項目水質計へカメラを装着して②深さ別調査を行ったところ、中川運河は季節によって様々な変化をしていることが分かった。



3. 「濁り」は何なのか

深さ別調査のデータと動画を見ていると夏～冬にかけて中層以下で急激に濁りが発生し、濁度が同じように上昇する地点がほぼ必ず存在した。その「濁り」の原因を調査した。



我々は濁りの正体を、硫化水素が水面付近で酸化され発生する「青潮(硫黄コロイド)」が、中層以下で発生しているものと仮定し、実際に濁りの層を採水して分析した。調査の結果、途中までは硫黄と濁度が同じように上昇したが、2.5m以降は異なる動きをしたため、濁り＝硫黄とは言い切れない結果となった。しかし、サンプル数が少ないこと、調査した季節が偏っていることなどから、さらなる調査を続ける必要があると考えている。